

単元案の概要

単元名:何を食べる?どこで食べる?誰が作る?—日中台の高校生の朝食に関する意識・行動について					
科目名	中国語演習/ グローバル中国語	作成日	2019年9月1日	作成者	柳 素子
学年/年次	2年生	クラス人数	13名(男子1名/女子12名)	使用教材	プリント教材
話題分野	【食】【買い物】	言語レベル	入門レベル/ ネイティブレベル	必要時間数	12コマ程度
単元目標					
日本・中国・台湾の高校生の朝食に関する意識・行動の異同について調べ、学年集会で発表する。					
コミュニケーション能力指標					
<p>話題分野【食】 レベル1～2 1-d 食べたいものや飲みたいものを、メニューの中から探すことができる。 1-1 朝食・昼食・夕食によく食べるものについて、言ったり尋ねたりできる。 2-g 自分の食生活(いつ、どこで、誰と、どんなものを食べるかなど)について、口頭で質問できる。</p> <p>話題分野【買い物】 レベル2～3 2-a お店や売場の場所、買いたいものの有無や値段などを、尋ねることができる。 2-h 支払い場所や支払い方法を尋ねて、代金を支払うことができる。</p>					
学習活動の流れ					
語彙・表現習得活動			学習シナリオ		
<ul style="list-style-type: none"> 動詞述語文、指示代名詞、助数詞、存現文について理解し、表現できるようにする。 食べ物に関する名称、買い物の表現、場所を表す表現を用いる。 (この単元で参照する既習事項) 数字の表現 時間の言い方 親族名称 味覚を表す形容詞			<p><場面状況>本校では、毎年中国や台湾からの修学旅行生と交流を行っています。交流をより充実したものにするため、中国・台湾について調べ、学年集会で発表し、同級生にも二地域への理解を深めてもらいましょう。今回は朝食をテーマとして取り上げます。日本・中国・台湾の高校生の朝食に関する意識・行動には違いがあるのか調べて発表しましょう。</p> <p><活動の流れ> (プレコミュニケーション活動)中国語演習 (コミュニケーション活動)グローバル中国語 ①日本・中国のファーストフード店のHPやメニューの画像を検索し、朝食メニューの共通点や相違点について調べる。(事前調査) ②ネット上のアンケートフォーム(中国:腾讯问卷,日本、台湾:グーグルフォーム)を作成し、中国と台湾の高校生を対象に朝食に関するアンケートを実施し結果をまとめる。(本調査) ③クラスを小グループに分け、朝食をテーマにしたプレゼン原稿を作成する。その際、文化習慣の異同に配慮する。 ④学年集会での発表の担当を決め、司会進行、機器操作担当などに分かれて練習をする。 ⑤発表後のリフレクションを行う。</p>		
評価活動					
形成的評価			総括的評価 ※別途ルーブリックを作成してください		
<ul style="list-style-type: none"> 筆記テスト(表記の正確さ、表現の適切さ)、 暗唱テスト(発音の正確さ) ワークシート (表記の正確さ、表現の適切さ、気づきなど)			<ul style="list-style-type: none"> 学年集会における発表(プレゼンの原稿内容、パフォーマンス) リフレクション(ルーブリック、自由記述)の内容 		

3×3+3分析

	言語領域	文化領域	グローバル社会領域
わかる	<ul style="list-style-type: none"> 動詞述語文、指示代名詞、助数詞、存現文について理解する。 飲食に関する語彙・表現を理解し、覚える。 買い物に関する語彙・表現を理解し、覚える。 レストランの場面での語彙や表現を理解し、覚える。 	<ul style="list-style-type: none"> 飲食（レストランの場面も含む）・買い物に関する語彙・表現の学習を通じて、中国や台湾の文化・習慣について理解する。 ネット上にある日本と中国のファーストフード店の朝食メニューを調べて、日本との異同に気づく。 日・中・台の高校生を対象に行ったオンラインアンケート結果から、三地域の高校生の朝食に関する意識・行動における異同に気づく。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報機器（iPad）、動画編集ソフト（iMovie等）、オンラインアンケートフォーム（グーグルフォーム、腾讯闻讯）、授業支援クラウド（ロイロノート）の使い方について理解する。〈情報活用〉 日本語母語生徒および中国ルーツの生徒からなる小グループで朝食をテーマにディスカッションを行い、中華圏の多様性と進行するグローバル化について認識する。〈協働、高度思考〉
できる	<ul style="list-style-type: none"> 飲食・買い物に関する語彙・表現やレストランの場面での表現を使って会話をすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 日・中のファーストフード店のメニュー調査からわかった相違点もふまえて、オンラインアンケートを作成することができる。 オンラインアンケート結果から異同の事由およびその背景にある考え方や価値について分析することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報機器をその環境や目的に応じて適切かつ効率的に使って、成果物にまとめることができる。〈情報活用〉 日本語母語生徒および中国ルーツの生徒が協力しながら、調査・分析・編集することができる。〈協働、高度思考〉
つながる	<ul style="list-style-type: none"> 神戸中華街において、日本語母語話者が中国ルーツの生徒の助けを借りながら、買い物をすることができる。 		<ul style="list-style-type: none"> 情報機器、アプリを使って作成した成果物を校内の集会で紹介し、フィードバックを得る。〈情報活用、協働〉
三連携	<p>【学習者】生徒にとって身近なコンテンツ（中国や台湾のファーストフード店のメニューなど）を使って調査・考察を行う 司会・IT操作・翻訳などそれぞれの得意分野を生かして学習を進める</p> <p>【教室外】神戸中華街でのフィールドワーク、オンラインのアンケートフォームの利用、学年集会での発表</p> <p>【他教科】情報科</p>		

ルーブリック

	観点	目標以上に達成 5	目標を達成 4	目標達成まであと少し！ 2	達成まで努力が必要 1
グループ	グループ発表	/		発表する人に偏りがあり、発表も途中で何度か滞る。時間のロスも生じている。	特定の人しか発表しておらず、スムーズに進行していない。準備不足の印象を受ける。
	内容 ×2	日本・中国・台湾の朝食の共通点、相違点について、わかりやすく紹介されており、さらに、その理由や背景、価値観などについても述べられている。プレゼン原稿についても、構成が非常にはっきりしているだけでなく、オリジナリティーが見られる。	日本・中国・台湾の朝食の共通点、相違点について、わかりやすく紹介されている。プレゼン原稿についても構成がはっきりしている。	日本・中国・台湾の朝食の共通点、相違点について紹介されているものの、内容が乏しく物足りない。プレゼン原稿についても構成がわかりにくく、紹介文の例もほとんど用いていない。	日本・中国・台湾の朝食の共通点、相違点について、1つ～2つしか紹介されておらず、わかりにくい。
	視覚資料 ×2	スライドや写真、グラフなど、視覚的な資料を効果的に活用し、非常にわかりやすい発表である。(色彩、デザイン、言葉が見る人を引きつけ、印象に残る工夫がある。)	全体的にスライドや写真、グラフなど、視覚的な資料を活用し、わかりやすい発表となっている。(レイアウト、色彩や文字サイズが見やすいよう配慮されている。)	一部スライドや写真、グラフなど視覚的な資料を活用している。しかしながら、データに適したグラフが作成されていないなど視覚的な資料が効果的に活用されていない。	/
個人	発表の態度 ×2	プレゼン原稿を見ることなく、常にアイコンタクトを保っている。さらに伝えたい部分の強調や、身振り手振りなど工夫しており、聞き手に配慮した発表になっている。	時々プレゼン原稿を見るが、アイコンタクトもできており、聞き手に配慮しようとして努力していた。	プレゼン原稿を読んでいることが多く、ほとんどアイコンタクトができておらず、聞き手への配慮を忘れることが多々あった。	プレゼン原稿をただ読み上げるだけで、聞き手とのアイコンタクトも全くない。
	発音 ×2	声調やピンイン（発音記号）に気をつけて発音しており、声も大きく明瞭で、伝えたい内容がよくわかる。	声調やピンイン（発音記号）の発音の正確さに少し欠けるが、大体声も大きく明瞭で、伝えたい内容はほとんどわかる。	声調やピンイン（発音記号）の発音の正確さに欠け、声も不明瞭で、理解できない部分があった。	声調やピンイン（発音記号）の発音の間違いがかなりあり、声も小さく不明瞭で、何を言っているかわかりにくかった。

目標分解表

科目名	活動の種類	個々のタスク	小目標	中目標	大目標	テーマ
中国語演習	プレ コミュニケーション 活動	動詞述語文、飲食に関する語彙について学び、表現できるように練習する。	飲食に関する表現を理解し、会話することができる。	中国の文化・習慣をふまえた上で、飲食、買い物に関する語彙を使って表現できる。		
		食べたい物、飲みたい物について尋ねたり答えたりする。				
指示代名詞、助数詞、中国の通貨について学び、表現できるように練習する。		買い物をする時やレストランでの場面での表現を理解し、会話することができる。				
買い物をする場面を想定し、値段を尋ねたり、値引き交渉をする。						
所有と存在を表す“有”について学び、表現できるように練習する。						
レストランでの場面を想定し、料理や飲み物を注文したり、支払いをする。						
【形成的評価】筆記テスト(表記の正確さ、表現の適切さ)、暗唱テスト(発音の正確さ)						
	神戸中華街でのフィールドワーク(校外学習)	中国語を使って買い物をすることができる。				
【形成的評価】ワークシートの内容(表現の正確さ、リフレクション等)						
グローバル中国語	コミュニケーション 活動	日本・中国のファーストフード店のHPやメニューの画像を検索し、朝食メニューの共通点や相違点について調べる。 (事前調査)	中華圏に特有の朝食メニューについて理解し、日本との共通点や相違点について分析し、その背景について考察する。	事前調査の結果から、アンケートを作成し、実施する。日本・中国・台湾の朝食について、異同の事由や背景、価値観などについて考え、まとめる。	日本・中国・台湾の高校生の朝食に関する意識・行動の異同について調べ、学年集会で発表する。	【状況設定】 門真なみはや高等学校では、毎年中国や台湾からの修学旅行生と交流を行っています。交流をより充実したものにするため、中国・台湾について調べ学年集会で発表し、同級生にも2地域への理解を深めてもらいましょう。今回は朝食をテーマとして取り上げます。日本・中国・台湾の高校生の朝食に関する意識・行動には違いがあるのか調べて発表しましょう。
		【形成的評価】ワークシート(表記の正確さ、表現の適切さ、気づき)				
		ネット上のアンケートフォーム(中国:騰訊問卷, 日本、台湾:グーグルフォーム)を作成し、中国と台湾の高校生を対象に朝食に関するアンケートを実施し結果をまとめる。 (本調査)	グラフなどを効果的に使って、3地域の異同について協力しながらまとめることができる。			
		クラスを小グループに分け、朝食をテーマにしたプレゼン原稿を作成する。その際、文化習慣の異同に配慮する。	情報機器を効果的に使って協力しながらまとめることができる。	日本・中国・台湾の朝食に関するプレゼン原稿を作成して発表する。		
		学年集会での発表の担当を決め、司会進行、機器操作担当などに分かれて練習をする。	正確な中国語や日本語を使いながら、パフォーマンス(アイコンタクト、ジェスチャーなども含む)ができる。			
		発表後のリフレクションを行う。				
	【総括的評価】作成したプレゼン原稿内容(各自の担当部分)、学年集会におけるパフォーマンス、リフレクション(ルーブリック、自由記述)の内容					